

2024年8月13日

## 最近の長野県経済の動向 (月例調査)

### 概要

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 全国景気*   | このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している |
| 長野県内景気  | 足踏みの状態にある                 |
| 5月の生産動向 | 一部に弱さがみられるも持ち直しつつある       |
| 6月の個人消費 | 乗用車新車販売は6カ月連続で前年を下回る      |
| 6月の公共投資 | 公共工事保証請負額は6カ月連続で前年を上回る    |
| 6月の住宅投資 | 新設住宅着工戸数は3カ月連続で前年を下回る     |
| 6月の雇用情勢 | 有効求人倍率は3カ月連続で前月を下回る       |

今後は、個人消費に影響を与える実質賃金の伸びがプラスに転じ、推移していくかどうかに注視する必要がある。

※内閣府「月例経済報告(2024年7月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

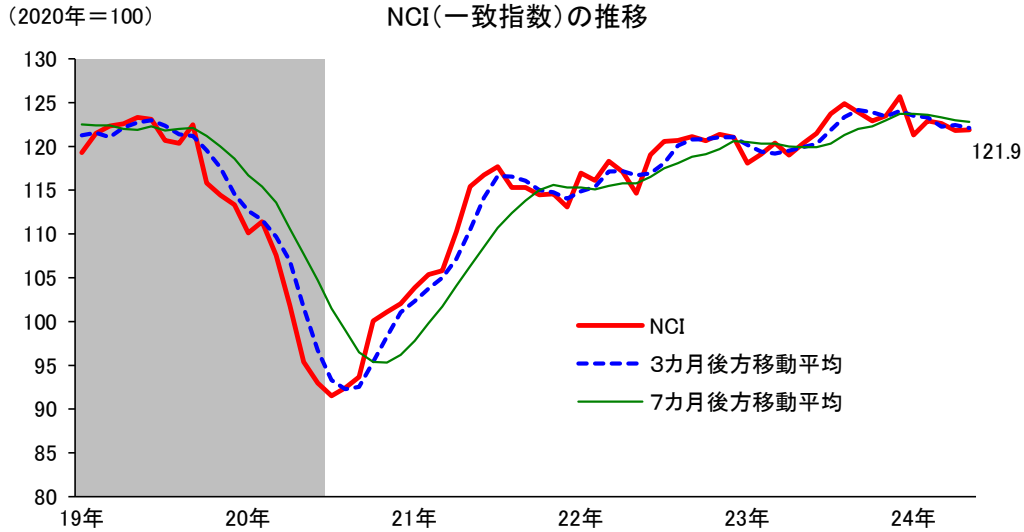
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501

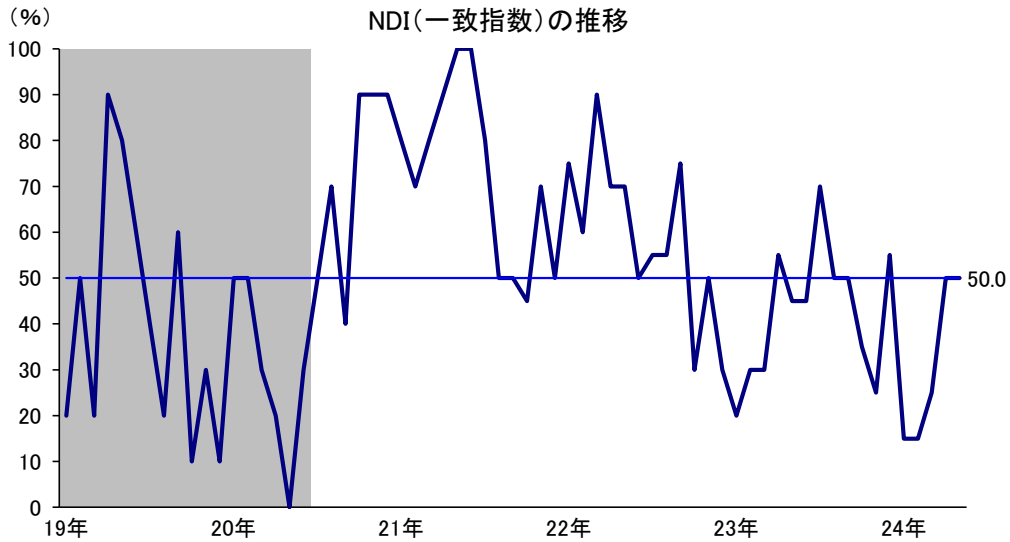


# 景気動向指数

- 5月のNCI(一致指数)は、121.9と前月と比較し+0.1ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.3ポイントと2カ月ぶりに低下し、7カ月後方移動平均は同△0.2ポイントと4カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、足踏みを示している。
- NDI(一致指数)は、50.0%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%と同水準となった。



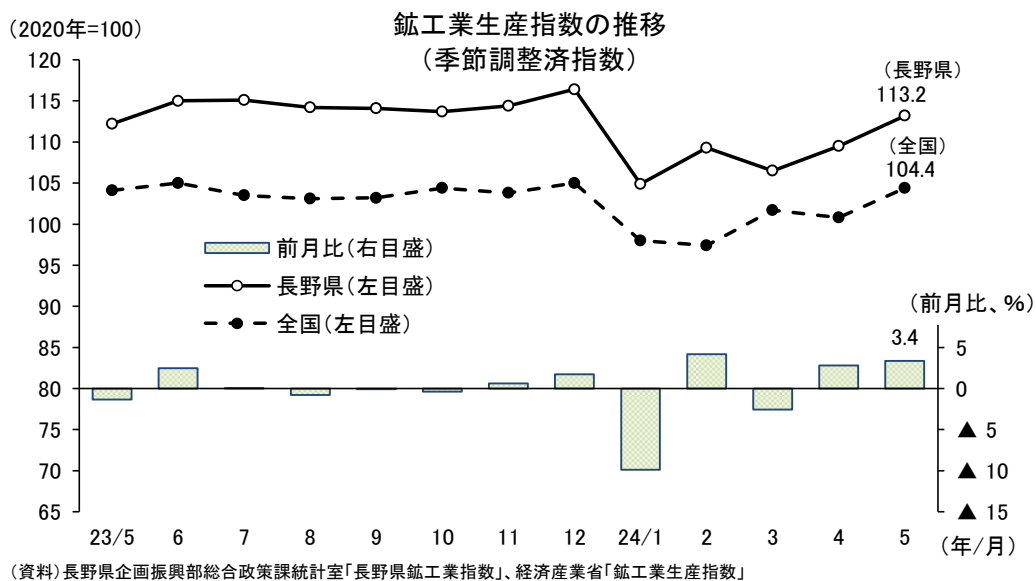
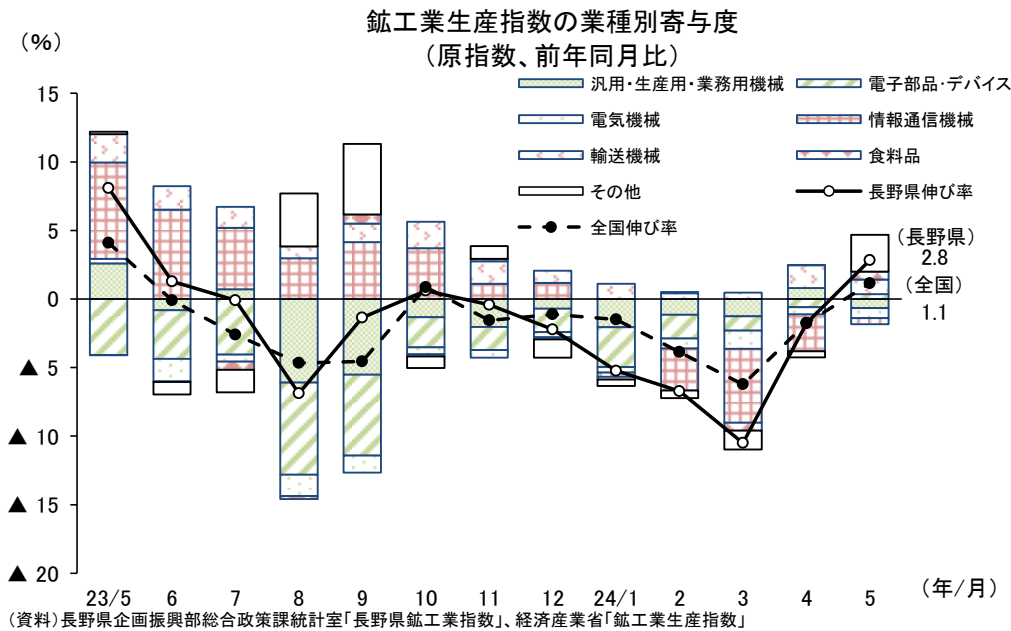
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 (注) 1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す  
 2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 (注) 1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す  
 2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

## 一部に弱さがみられるも持ち直しつつある

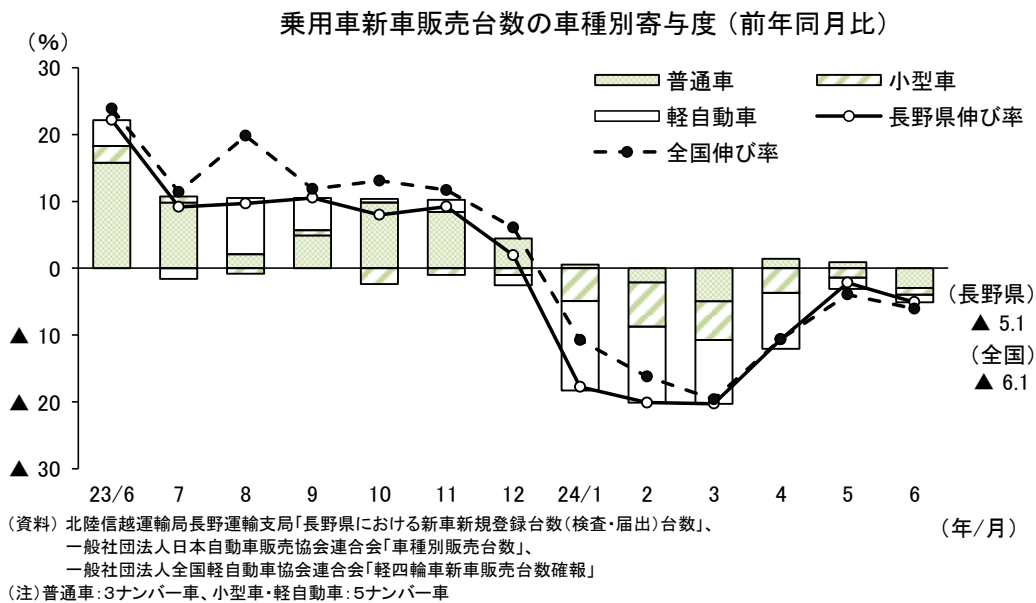
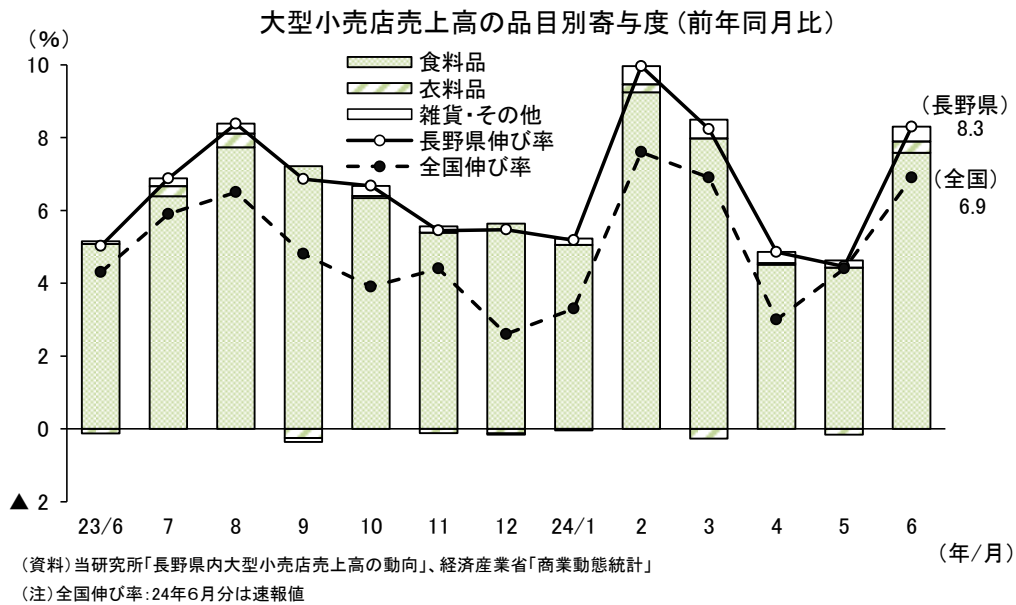
- ・5月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比+2.8%、季節調整済指数が前月比+3.4%となった。
- ・季節調整済指数は2カ月連続で前月を上回り、原指数は7カ月ぶりに前年を上回った。中国経済の減速に伴う外需の縮小などが続き一部に弱さがみられるが、一部完成車メーカーの認証不正問題を起因とした生産・出荷停止の解除もあり、生産は持ち直しつつある。
- ・主要業種別にみると、「輸送機械」「食料品」「電子部品・デバイス」などが前年を上回ったものの、「汎用・生産用・業務用機械」「電気機械」などが前年を下回った。



# 個人消費

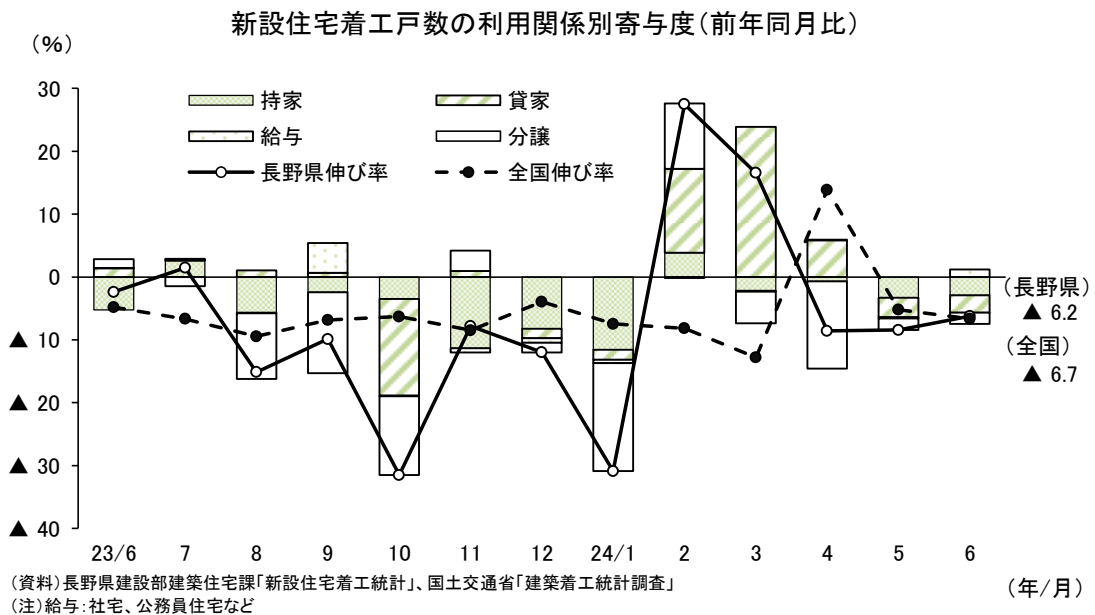
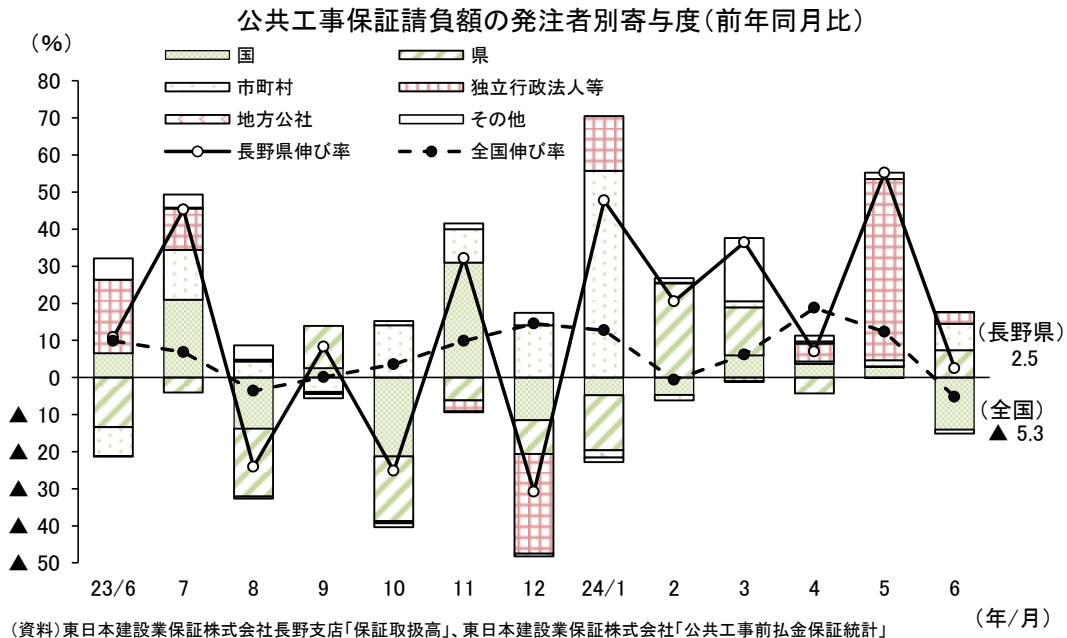
## 乗用車新車販売は6カ月連続で前年を下回る

- 6月の大型小売店売上高は、前年同月比+8.3%（売場面積調整前）となり、33カ月連続で前年を上回った。食料品は、生鮮食品を中心に堅調だったほか販売価格の上昇もあり、同+8.7%となった。衣料品は、前月不振だった季節衣料が前年を上回り、同+6.5%だった。雑貨・その他は、化粧品や日用品が堅調で、同+4.8%となった。
- 6月の乗用車新車販売は、当月に発覚した一部完成車メーカーの認証不正問題を起因とした生産・出荷停止の影響などにより前年同月比△5.1%と6カ月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は同△7.6%と3カ月振りに前年を下回ったほか、小型車は同△4.8%と9カ月連続で、軽自動車は同△2.8%と7カ月連続で前年を下回った。



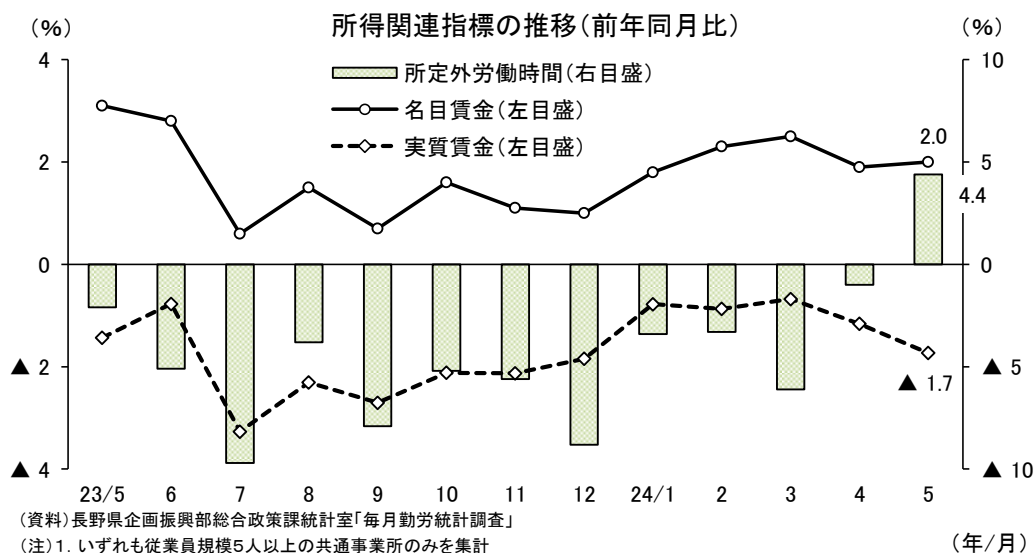
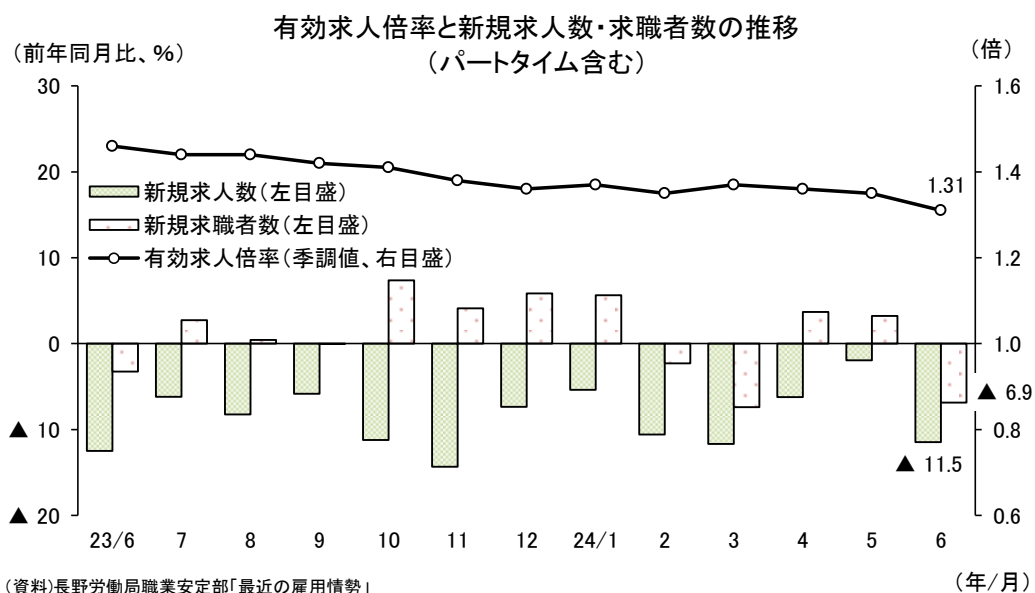
## 公共工事保証請負額は6カ月連続で前年を上回る

- 6月の公共工事保証請負額は、前年同月比+2.5%の248億5,300万円となり、6カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、国が同△42.0%、その他が同△16.2%と減少したものの、県が同+72.4%、市町村が同+26.4%、独立行政法人等が同+13.7%、地方公社が同+30.6%と増加した。
- 6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△6.2%の995戸と3カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、給与が同+650.0%と増加したものの、持家が同△5.3%、貸家が同△8.3%、分譲が同△15.1%と減少した。



## 有効求人倍率は3カ月連続で前月を下回る

- 6月の有効求人倍率は、前月比△0.04ポイントの1.31倍となり、3カ月連続で前月を下回った。
- 新規求人数(全数)は前年同月比△11.5%となり、16カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△8.2%、パートは同△16.1%となった。主要産業別では、サービス業が同△15.1%、宿泊・飲食サービス業が同△23.9%、製造業が同△9.0%、卸売業・小売業が同△9.1%などと、不動産業・物品賃貸業を除く全ての産業が前年を下回った。
- 新規求職者数(全数)は、前年同月比△6.9%と3カ月ぶりに前年を下回った。
- 5月の名目賃金は前年同月比+2.0%と37カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△1.7%と29カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同+4.4%と14カ月ぶりに前年を上回った。



(資料)長野県企画振興部総合政策課統計室「毎月勤労統計調査」

(注)1. いずれも従業員規模5人以上の共通事業所のみを集計

2. 名目賃金の前年同月比は、きまって支給する給与の実額比較による

3. 実質賃金の前年同月比は、名目賃金と長野市の消費者物価指数(持家の帰属家賃除く総合)から当研究所が計算

## 県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

### 有効求人倍率は4地域いずれも前年を下回る

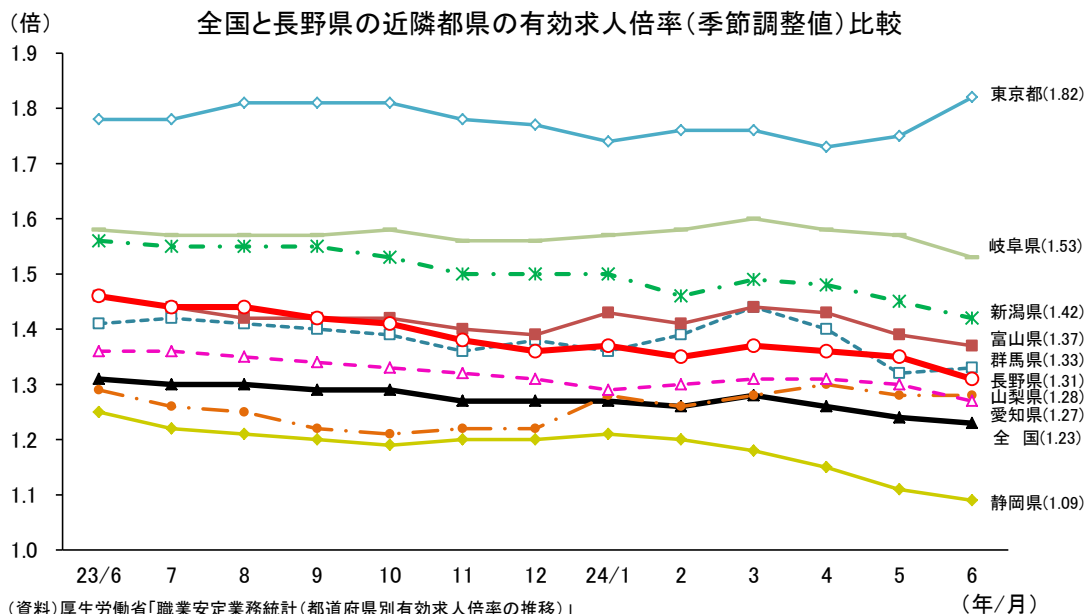
- 6月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.10ポイントの1.22倍、東信が同△0.09ポイントの1.25倍、中信が同△0.18ポイントの1.26倍、南信が同△0.12ポイントの1.24倍となった。
- 職業安定所別有効求人倍率(全数)は、木曽福島と飯田がともに1.33倍と最も高く、次いで佐久が1.29倍となった。
- 長野県の有効求人倍率は45カ月連続で全国を上回り、順位は前月より2つ下げ15位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(24年6月)

| 地域              | 北 信(1.22)<br>(前年同月比▲0.10) |      |        |        | 東 信(1.25)<br>(前年同月比▲0.09) |        | 中 信(1.26)<br>(前年同月比▲0.18) |        |        | 南 信(1.24)<br>(前年同月比▲0.12) |        |        |
|-----------------|---------------------------|------|--------|--------|---------------------------|--------|---------------------------|--------|--------|---------------------------|--------|--------|
|                 | 長野                        | 篠ノ井  | 飯山     | 須坂     | 上田                        | 佐久     | 松本                        | 木曽福島   | 大町     | 飯田                        | 伊那     | 諏訪     |
| 全 数             | 1.27                      | 1.20 | 1.09   | 1.17   | 1.22                      | 1.29   | 1.25                      | 1.33   | 1.28   | 1.33                      | 1.13   | 1.25   |
| 前年同月比<br>(ポイント) | ▲ 0.09                    | 0.03 | ▲ 0.37 | ▲ 0.15 | ▲ 0.06                    | ▲ 0.12 | ▲ 0.20                    | ▲ 0.16 | ▲ 0.04 | ▲ 0.23                    | ▲ 0.15 | ▲ 0.05 |
| うち常用            | 1.15                      | 1.16 | 1.01   | 1.06   | 1.14                      | 1.25   | 1.13                      | 1.20   | 1.23   | 1.26                      | 1.00   | 1.17   |
| 前年同月比<br>(ポイント) | ▲ 0.07                    | 0.03 | ▲ 0.39 | ▲ 0.14 | ▲ 0.06                    | ▲ 0.12 | ▲ 0.11                    | ▲ 0.19 | 0.04   | ▲ 0.22                    | ▲ 0.13 | ▲ 0.05 |

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」

(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む

2. 長野県の近隣都県および、経済規模、産業構造が類似している県